

数B (ベクトルの減法)

① \vec{a} と大きさが等しく、向きが反対であるベクトルを ① $-\vec{a}$ で表し、これを \vec{a} の ② 逆ベクトル という。

③ 次のベクトル \vec{a}, \vec{b} について、 $\vec{a} - \vec{b}$ を図示しよう。

数B (ベクトルの減法)

① \vec{a} と大きさが等しく、向きが反対であるベクトルを ① $-\vec{a}$ で表し、これを \vec{a} の ② 逆ベクトル という。 $\vec{AB} = -\vec{BA}$ $\vec{AB} + \vec{BA} = \vec{AA} = \vec{0}$

③ 次のベクトル \vec{a}, \vec{b} について、 $\vec{a} - \vec{b}$ を図示しよう。 $\vec{a} + (-\vec{b})$